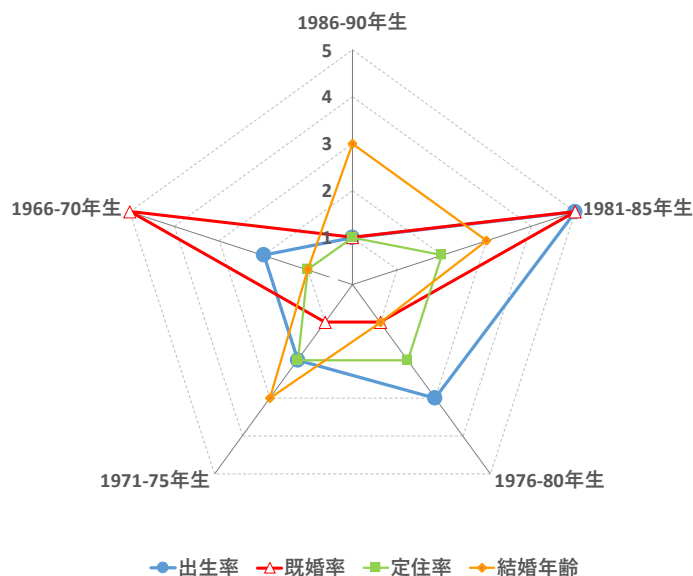


(25) 出雲崎町

① 出生に関する総合評価

図25-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

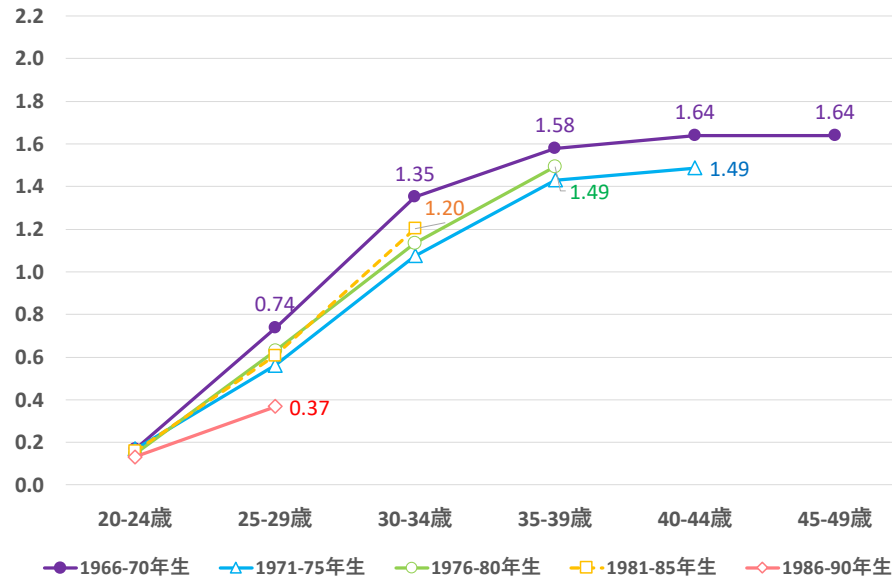
1. 合計出生率は1966-70年と1971-75年生まれは下位，1976-80年生まれは中位，1981-85年生まれは最上位，1986-90年生まれは最下位である。
2. 女性既婚率は，1971-75年生まれ，1976-80年生まれ，1986-90年生まれは最下位であるが，1966-70年生まれと1981-85年生まれは最上位である。
3. 女性定住率は，1966-70年生まれと1986-90年生まれは最下位であるが，1971-75年生まれから1981-85年生まれまでは下位である。
4. 女性結婚年齢は，1966-70年生まれと1976-80年生まれは最下位であるが，1971-75年生まれ，1981-85年生まれ，1986-90年生まれは中位である。

【総合評価】

1. 出雲崎町は，定住率が全コホートで下位以下，結婚年齢は中位以下であり，低水準にある。他方，女性既婚率は最上位から最下位までに位置しており，コホート間のばらつきが大きい。同様に，合計出生率も最上位から最下位に位置しておりコホート間のばらつきが大きい。特に合計出生率は1980年代前半生まれの最上位から，80年代後半生まれは最下位に転落した。
2. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は，1970年代前半生まれは1人を下回ったが，1980年代前半生まれは1人を上回った。しかし，1980年代後半生まれは，25-29歳時点の既婚率が1970年代前半生まれよりも大きく低下したため，20歳代後半の出生率がかつてないレベルまで低下している。今後，25-34歳の出生数を回復できるかは，30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。併せて，1980年代後半生まれの25-29歳時点の女性既婚率が30%を割り込んで著しく低下した要因の解明も必要である。
3. また，出雲崎町は，1980年代前半生まれの男女間の既婚率の差が大きく，80年代後半生まれの男性既婚率も低迷していることから，男性に対する対策も必要である。
4. 25-29歳以降の女性定住率は1980年代生まれのコホートで0-4歳時点の50%台であり，これが回復しなければ，人口再生産力のさらなる低下が懸念される。

②コホート合計出生率

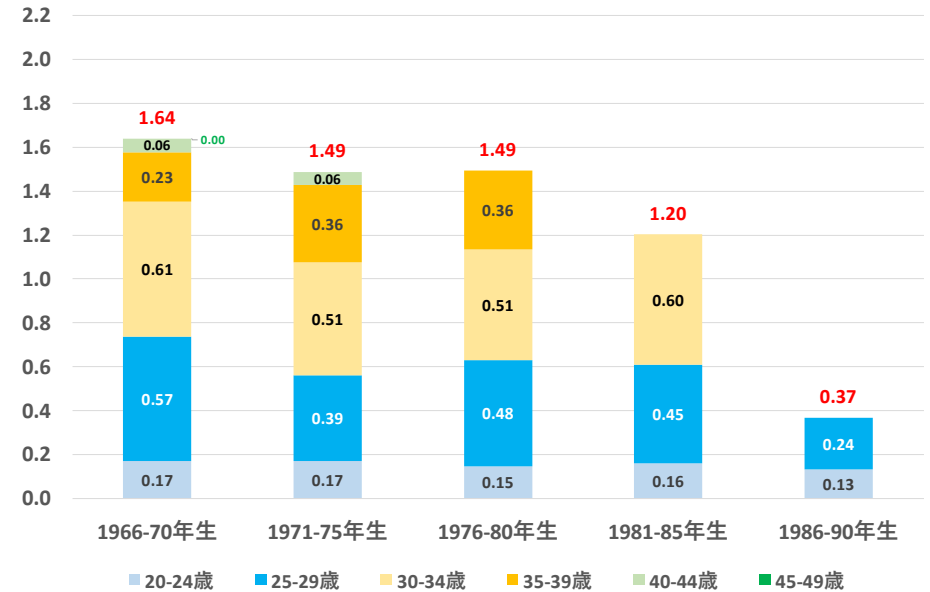
図 25-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 25-2 は、出雲崎町のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の低下がみられる。
- ・ ただし、1976-80 年生まれと 1981-85 年生まれのコホートは、1971-75 年生まれよりも合計出生率が高まっている。しかし、1986-90 年生まれは 25-29 歳の合計出生率が大きく低下している。

図 25-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

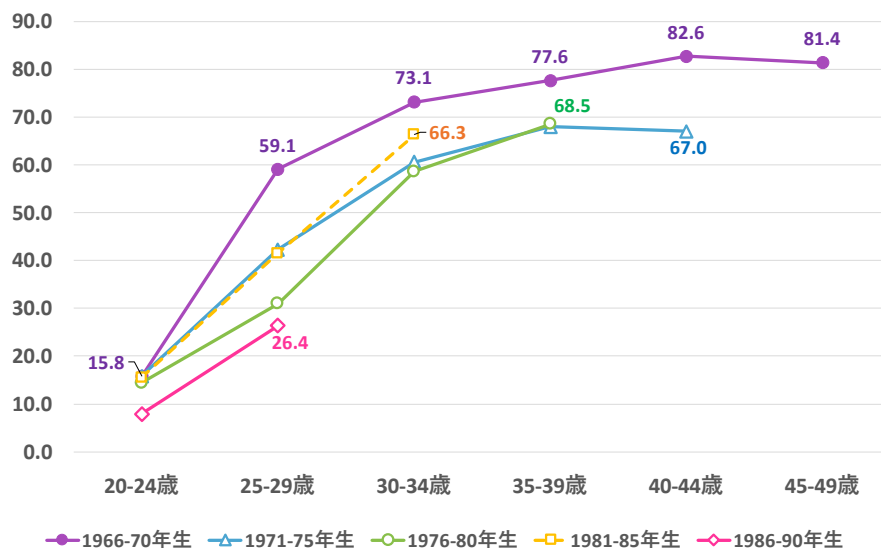


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 25-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれの 0.74 人に対して、1986-90 年生まれは 0.37 人に大幅に減少した。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.84 人に対して、1976-80 年生まれはわずかに上昇して 0.87 人である。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれていない状況が続いている。
- ・ 25-34 歳の出生数は、1971-75 年生まれ以降 1 人を下回っていたが、1981-85 年生まれは 1 人を回復した。しかし、1986-90 年生まれは大きく減少して、25-29 歳で 0.24 人にしか生まれていない。

③コホート別既婚率

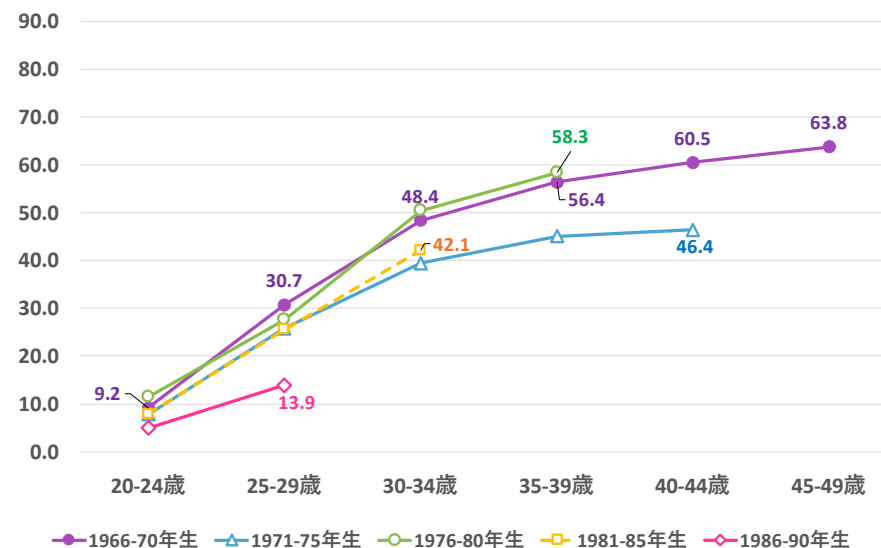
図 25-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 25-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 59.1%から 1986-90 年生まれは 26.4%に 32.7 ポイントも大幅に減少している。35-39 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 77.6%から 1976-80 年生まれの 68.5%に 9.1 ポイント低下している。

図 25-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

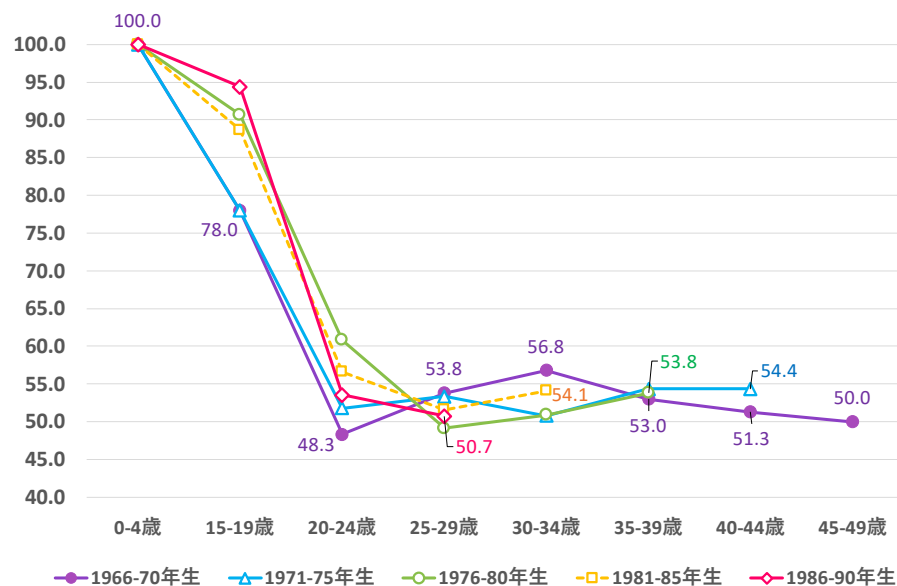


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 25-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 30.7%から 1986-90 年生まれは 13.9%へと 16.8 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 56.4%から 1976-80 年生まれは 58.3%と 1.9 ポイント上昇している。1987-90 年生まれの 25-29 歳の既婚率が 13.9%で県内最下位である。
- ・ 40 歳代の既婚率は女性の場合と同様に、男性も 60%から 40%台半ばに大幅に低下している。

④コホート別定住(残存)率

図 25-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

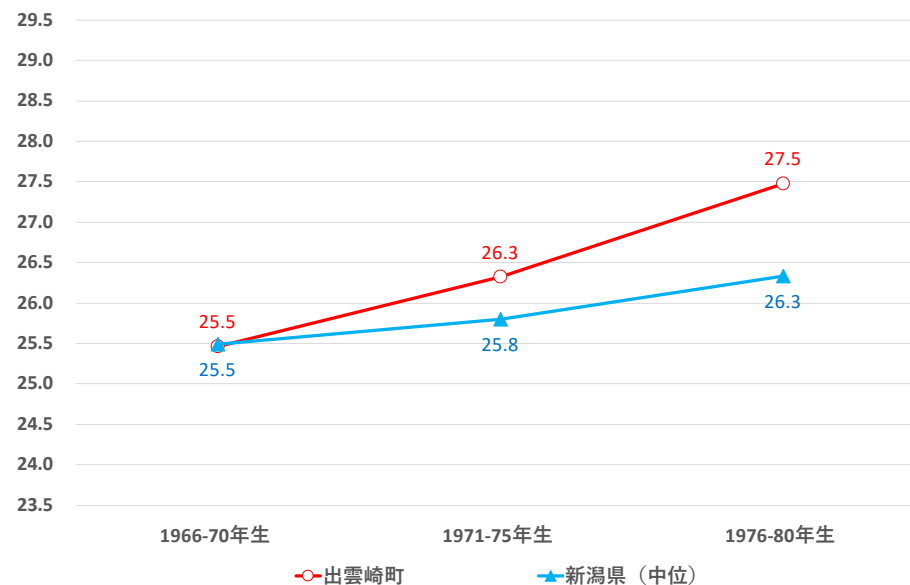


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 25-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの53.8から1986-90年生まれは50.7に3.1ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの53.0から1976-80年生まれは53.8に0.8ポイント増加している。
- ・ 出雲崎町では、25-29歳時でみると、コホート間の大きな変化は見られない。しかし、すべてコホートで、0-4歳時点の40%台後半から50%台半ばに減少する状況が続いている。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 25-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

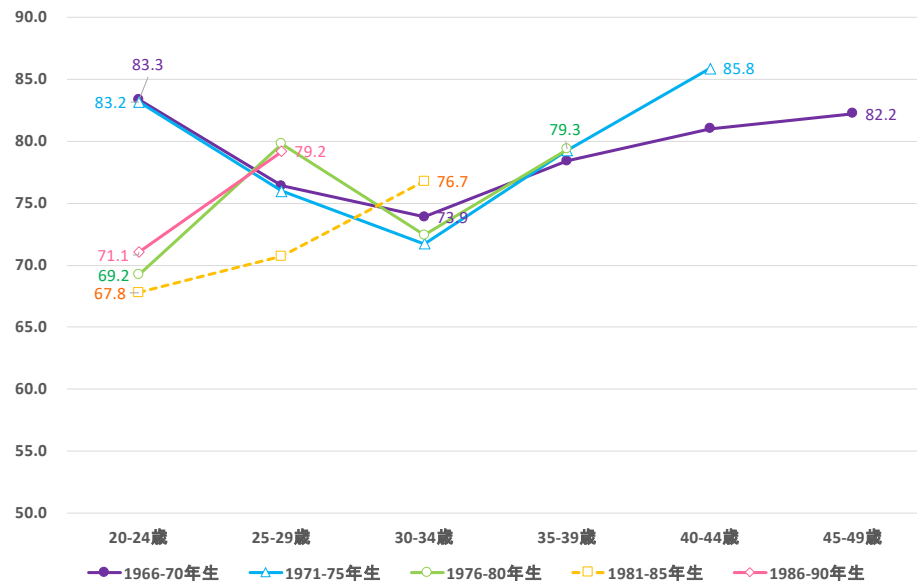


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 25-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.5歳、26.3歳、27.5歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは2歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は15位と県内平均(中位)程度だったが、1971-75年生の県内順位は26位、1976-80年生は29位と県内で最も遅い自治体の一つとなっている。

⑥コホート別女性就業率

図 25-8 コホート別女性就業率 単位：％

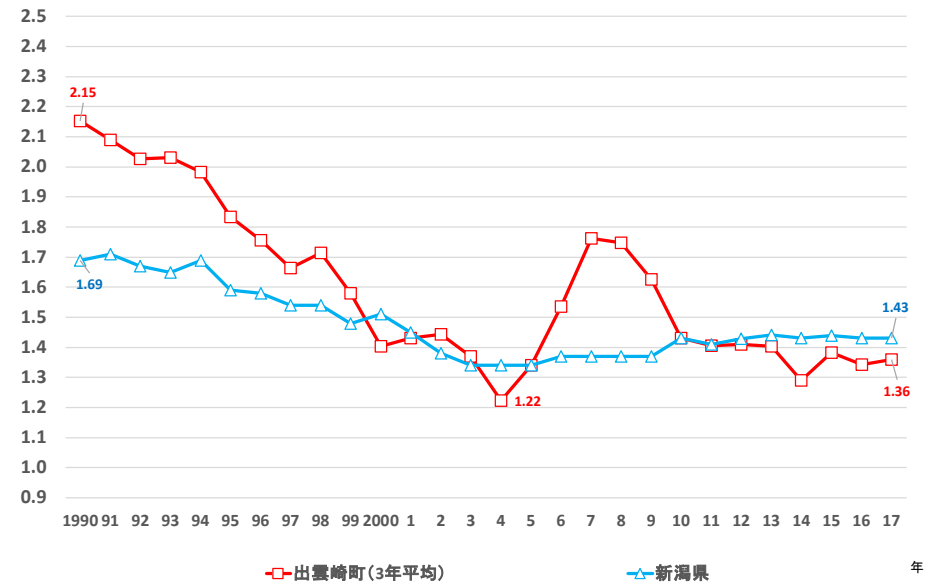


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 25-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれのコホートは低下しているのに対し、1976-80 年生まれ以降のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると、1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 25-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 25-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と出雲崎町（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年代の出雲崎町の期間合計特殊出生率は新潟県平均を大きく上回っていたが、2000 年以降は県平均と同程度でおよそ推移している。期間平均では 0.12 ポイント高い。
- ・ 出雲崎町の期間合計特殊出生率は、1990 年の 2.15 から低下し、2004 年の 1.22 まで大きく低下した。その後 2008 年には 1.75 に上昇するが 2017 年には 1.36 まで再び下がっている。